



赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信 12

2021年
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

令和3年度を振り返り 赤目に於ける10の出来事

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

今年も残す処わずかとなり、寒さも日増しにきつくあわただしい年末を迎える季節と成って参りました。

地域皆様方には、コロナ禍の中にもかかわらず、私共の諸行事・諸活動に対し心からのご理解とご協力を賜り、改めてお礼と感謝を申し上げます。そこで今回は、今年に於ける赤目町の出来事について振り返りたいと思います。1番目は、東京2020オリンピック聖火が赤目滝に来る。(錦生赤目小学校及び赤目中学校児童生徒の応援並びに伊賀一ノ井松明講の協力を受ける。)2番目パラリンピックの聖火採火式典に伊賀一ノ井松明講より名張ゆかりの灯りとして採火され東京会場へ送られました。3番目SDGsに基づき赤目竹あかりプロジェクトの設立。コロナの関係により、各地区に出前による活動と錦生赤目小学校先生並びに児童を対象として実施。4番目市民センターまつりの開催。コロナ禍により作品展示のみで3日間実施。5番目赤目地域総合型スポーツクラブの設立。赤目地域に於ける多世代・多目的・多目的のスポーツクラブで青年会を中心として発足。6番目選挙投票所の変更。高齢化に伴い昨今の状況から赤目保育所での投票を赤目市民センターに変更。7番目柏原風呂屋橋に水位監視の定置カメラの設置。気象の異常な変化に伴い地域住民の安全安心な生活の為。8番目赤目駐在所詰所の新築。モダンな観光赤目のシンボリック的存在として。

9番目消防団赤目分団ポンプ庫の新築。元の分団詰所の老朽化と今後の分団員の更なる活躍を期待して。10番目竹あかり夕涼み会の開催。竹あかりプロジェクトを中心に作品発表とコロナ収束を願い市長他来賓の参加を頂く。

以上が今年1年を振り返っての10項目であります。各項目の内容に関わって頂いた関係皆様に衷心より感謝申し上げますと共に迎える来年も変わらぬご理解ご協力を心よりお願い申し上げます今年最後の一言と致します。

錦生赤目小学校 3年生が11/9 来訪

赤目市民センターへ3年生21名が館外学習で来てくれました。吉田センター長の説明を聞いた後、サークルさん、自彊術・健康卓球とあんしんネットを見学しました。



名張市総合防災訓練を11/20(土)実施

防犯防災部会(脇田部長)主催で、「新型コロナウィルス感染拡大防止下の中、大雨・洪水、暴風警報が発令され、土砂崩れや河川の氾濫及び家屋浸水の危機が発生、市内全域に避難指示が発令された。」との想定のもと、赤目市民センターに第二次避難所を開設。避難者数・安否確認など区別に報告、災害対策本部の設置と訓練を実施。赤目消防団・まちの保健室の協力を得て、感染者・負傷者への対応、備蓄品の確認、発電機の始動・仮設テントの組立など訓練を実施。訓練終了後、三重大学有識者、県職員、まちづくり委員会による全体会議並びに講評が行われました。



竹あかりづくり活発に開催

柏原区・長坂区 竹あかりづくり

11/20(土)柏原区婦人部ミントの会が、竹あかりづくりを実施。坂上区長より説明があり区としては3回目の開催、9名のメンバーが楽しく作業所で竹あかりを作りました。はじめは、おぼつかないドリルの扱いでしたが、時間と共に慣れてくるとスムーズに扱えるようになり、見事に完成。灯りをかざして、また、感動のひと時でした。

11/25(木)長坂区としては初のふれあいサロン「赤とんぼ」のメンバー20名で、長坂区集会所で竹あかりづくりを実施。ご高齢の方が多く、はじめは恐る恐るの作業でしたが、1時間余りで見事に完成。ドリルさばきも慣れた手つきで、2作目に挑戦、完成品に灯りを点して歓喜の声が木霊していました。



竜神山トレッキング実施

11/27(土)曇り空の中、赤目竜神山トレッキングを行いました。赤目市民センターに9時集合、コース説明・注意事項・ラジオ体操等の後、田園地帯を抜けて星川集会所に向かいました。集会所の大きな銀杏の木の下で写真撮影。いよいよ本格的に山歩きを開始。八幡神社の横より、川沿いにヒノキ林を抜けて、20分ほどで不動滝・摩崖仏まで到着。沢登りを経て、七つ池に11時着。早い目の昼食の後、尾根伝いに竜神さんの三角点・祠へ。大岩を経て、ビュー地点・展望の後、つづれ坂を柏原上出・横山まで下山。1時半には、無事に市民センター到着。



民生・児童委員を顕彰

10月30日(土)名張市武道交流館いきいきで第51回名張市社会福祉大会を開催。これまで長年にわたり地域での社会福祉の発展への功績をたたえ、梅山秀美(相楽)・藤村純子(柏原)さんが、市長表彰を受けられました。

星川ほのぼのクラブサロン開催

11/4(木)市民生・児童委員会長の藤村純子(柏原)さんを講師に招いて、バスタオルで防災用頭巾づくりを行いました。



永元正江区民生委員(星川)さんのお手伝いもあり、来るべき災害に備え立派な頭巾が出来ました。

皆さん、奮ってご参加ください!!

ELP 健康講座のご案内

“オーラルフレイルを吹き飛ばそう”

●「噛む力、飲み込む力」お口の機能、弱っていませんか？

加齢とともにこれらの口腔機能が衰えると、栄養状態から筋力の低下を招くこともあり、外出が減るなどの結果、介護が必要になる場合もあります。健康的な毎日過ごすためにも、オーラルフレイルを予防することが大切です。

日 時 令和3年12月15日(水) 午前10時～11時30分

場 所 赤目市民センター 大会議室

講 師 名張市健康子育て支援室 歯科衛生士 島岡 育代 様

こんなお口の変化があったら、**オーラルフレイル**かも



あばやみ
歯音がはっきりしない
食べこぼし
わずかなむせ
噛めないもの増加

放置すると、全身の筋肉や心身の活力の衰えが進み、**要介護状態となるリスク**が高まります

オーラルフレイルとは、**口の虚弱(ささいな口の機能の衰え)**という意味です

※マスクの着用をお願いいたします。
※12月16日(水)は、サンサンカレーです。ご自由にご参加ください。

オーラルフレイルは、**口腔機能の衰えが全身の老化につながります。**

忍たま広場楽しく開催 11/24(水)



Vol. 23 歴史散策紀行…「赤目文化遺産」

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

赤目の産業「製紙と製糸」

赤目を支えた産業として、「製紙業」手漉き和紙作りは今までも記述した通り有名。奈良県吉野地方から伝えられ江戸時代中期(宝暦年間1751年頃)から作られていたが、柏原区の森垣亀次郎氏が推進者となり、明治から昭和初期に紙の需要が著しく増え赤目町一帯は一大生産地に。滝川の水を利用して柏原・長坂地区で盛んに生産された。和紙作りは、農閑期の冬の仕事で、材料の楮(こうぞ)の皮を、寒中の澄み切った水にさらすのが良い紙作りの秘訣。楮はクワ科の落葉低木で、栽培が容易で毎年収穫できる優れたもの。紙漉きには、綺麗な水が必要で適した土地柄であった。また、丈夫な和紙は柿渋や寒天・コンニャクノリなどで加工すると更に丈夫になり、耐水性も向上する事から傘や笠、合羽などの雨具に利用され、伊賀の番傘が生まれた。

そしてもう一つの「製糸」。シルク(絹)は、蚕(かいこ)がつくる繭(まゆ・繊維)から得られ、直径2～3cmの繭からは約1,500mもの長い糸を作ることができる。そして蚕糸(さんし)業は、蚕の卵を生産する「蚕種(さんしゅ)業」、蚕を育てる「養蚕(ようさん)業」、繭から糸をとって生糸にする「製糸(せいし)業」に分かれる。明治時代には、養蚕に使う蚕の卵の保存に使用された洞窟、赤目風穴(ふうけつ)があった。風穴の上に建てられた「風穴小屋」は、全国に280カ所ほどあり、当時の名賀郡瀧川村にあった貫誠館は、館主の濱地佐太郎氏(相楽)によっ

12月6日～1月2日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
12/6	7 ダム見学ツアー	8 ふれあいサロン	9	10	11 和風づくり がん検診	12 和風づくり
13	14	15 ELP 健康教室	16 サンサンカレー	17	18	19
20	21 	22 ふれあいサロン 忍たま広場	23	24	25	26
27	28	29	30 赤目歳末警戒	31	1/1 元旦	2
← 年末年始休館日 →						→ 1/3 まで

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密(密集・密接・密閉)を避けて運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意お願い致します。

1月の行事予定



- ★12/29(水)～1/3(月) 年末年始休館日
- ★1/8(土) 凧揚げ大会
- ★1/12(水) ふれあいサロン
- ★1/22(土) 人権学習会
- ★1/26(水) ふれあいサロン・忍たま広場

凧づくり12/11(土)・12(日)実施予定

第1回「和風づくり」12/11(土)・12(日)
市民センター工芸室 9時より
凧揚げ大会1/8(土)
みんなのゆめ広場 9時より

